

令和6年度支部保険者機能強化予算を活用した事業実施結果

- 支部保険者機能強化予算は、「医療費適正化等の保険者機能を更に発揮するべき」との運営委員会や支部評議会でのご意見も踏まえ、令和元年度に創設。
- 戦略的保険者機能の更なる強化を着実に実施していくためには、「支部ごとの課題を本部・支部間で明確に共有し、課題の解決を図る」ことが重要。
このため、令和4年度より「本部・支部間の連携強化の方策」を開始したところであり、その一環として、支部において容易にデータ抽出・加工等が可能となる「情報系システム」を構築し、令和5年1月より運用を開始。
また、支部（地域）ごとの戦略的保険者機能の発揮に向けた取組を更に後押しするため、令和5年度より支部保険者機能強化予算を拡充したほか、令和6年度には被扶養者の集団健診（協会主催）時におけるオプション健診（骨粗鬆症検診、歯科検診、眼底検査）の実施に向けた予算も創設。
- 支部においては、支部保険者機能強化予算を活用し、データ分析により洗い出した支部（地域）ごとの健康課題等の解決や、加入者の健康度の向上に向けた取組等を実施（主な取組事例は次頁参照）。
- なお、令和6年度支部保険者機能予算額50.5億円に対し、執行額は33.6億円（予算執行率66.7%）であった。予算執行（活用）の最適化に向けて、引き続き本部と支部で連携し対応を進めてまいりたい。
※令和5年度支部保険者機能予算額は48.2億円、執行額は31.2億円（予算執行率64.8%）

取組事例②：熊本支部「上手な医療のかかり方の勧奨」

概要

- ✓ レセプトデータを活用し「①ポリファーマシー（多剤服用の有害事象）」、「②急性気道感染症等での抗菌薬服用」、「③頻回・重複受診」、「④不急（主に慢性疾患）の時間外受診」、「⑤後発医薬品のある先発医薬品服用」の対象者を抽出し、対象者へそれぞれに対応した（5パターン）リーフレットを送付。
- ✓ また、熊本県内の全医科医療機関（※）に対し、レセプトデータを活用した「時間外受診」、「後発医薬品代替」、「多剤・重複投薬」、「抗菌薬使用状況」に関する情報提供（リーフレットの送付）を実施したほか、本情報提供の満足度等に関するアンケート調査も実施。
※九州厚生局が公表している保険医療機関として指定されている医療機関一覧のうち歯科、薬局、保健所を除く全件（1,362件）。

結果

- ✓ 対象者（加入者）に対するリーフレット送付の効果検証は、令和7年度に実施。
- ✓ 医科医療機関に対するアンケート調査は250機関より回答があり、本情報提供について「非常に良い・良い」と回答された割合は50.8%と半数を超えており、一定の成果はあったものと考えている。
なお、本アンケート調査の結果を含む事業実施状況については、熊本県、県保険者協議会、県医師会、県薬剤師会等の関係団体へ展開しており、課題や目的の共有のほか、協働した新たな取組につながることも期待できる。

《加入者向けリーフレット（ポリファーマシー（多剤服用の有害事象））》

医療機関の受診にはマイナ保険証をぜひご利用ください。
マイナンバーカードも健康保険証として利用することで様々なメリットが得られます。医療機関や薬局での受診の際は、ぜひマイナ保険証をご利用ください。

マイナ保険証のメリット

- データに基づき、適切な医療が受けられる
- 手続きなしで高額療養費の自己負担限度額を超える支払いが免除される

特定種別や診療の情報は共有できるので、検査や投薬の重複が防げるほかデータに基づきより適切な医療が受けられます。
※本人の同意が必要です。

マイナンバーカードで資格確認を行うため、診療報酬用紙認定の手続きが不要になります。

この他にもマイナ保険証を利用するとマイナポータルで医療費や処方されたお薬の確認もできます！

マイナンバーカードをマイナ保険証として利用する方法
マイナンバーカードを保険証として利用できるには、事前に「保険証利用の登録」を行っていただく必要があります。

保険証利用の登録はここでできます。

- 医療機関窓口のカードリーダー
- セブン銀行ATM
- マイナポータル

協会けんぽ熊本支部からの大切なお知らせです。

上手な医療のかかり方で、すこやかな毎日を。

このお知らせは、今後も大切に読んでもらえるため役立つ情報を提供する目的としています。
特設サイトでさらにもっと詳しくご紹介します。ぜひご利用ください！

全国健康保険協会 熊本支部 〒860-8502 熊本中央公民館5-1 日本生命館ビル10階
協会けんぽ

本通知に関するお問い合わせ先 〒860-8502 熊本中央公民館5-1 熊本支部 受付センター
連絡先： 株式会社メディアファクト
電話番号：フリーダイヤル 0120-011-569
受付時間：10:00～12:00 / 13:00～17:00（土日・祝日も除く）
発行期間：2025年3月31日まで

お薬の種類や数が増えていますか？

お薬をいくつかの薬局でもらっていますか？
かかりつけ薬局を持つと、お薬の種類や数を管理できお薬の飲み合わせについて継続的なサポートが受けられます。

価格のおける薬局を1つ持ちましょう。

年齢を重ねると、お薬の数が増える傾向にあります。
お薬が多すぎると身体的にも経済的にも負担が増えます。

お薬が多すぎるデメリット

- 有害事象が現れる可能性
- お薬本来の効果が現れない可能性
- 医療費の負担が増える可能性

6種類以上で有害事象が増加すると言われています。

3ヶ所以上の病院に受けていると、お薬が6種類を超えることが増え、お薬の管理が難しくなります。

お薬の種類と病院の数の関係

受けている病院の数	有害事象の発生率 (%)
1ヶ所	2.8
2ヶ所	4.0
3ヶ所	6.7
4ヶ所	8.3
5ヶ所以上	10.2

※調査期間：令和5年度（2024年4月～2025年3月）セブより
Kojima Total Senior Generated by 2025/12/15 12:49 JST

受けている病院が増えるとお薬の種類が増え、リスクが高まる傾向にあります。

お薬の一元管理で健康リスクを減らすことができます。

多すぎるお薬は、健康に影響を及ぼす可能性があるため、注意が必要です。また、お薬も多く持つケースが多いので、減らせるお薬がないか医師や薬剤師に相談してみましょう。

お薬と上手に付き合うために知っておきたいこと

- 1 用法・用量を守る**
お薬は適切な量で服用です。自己判断でお薬の量を増減したり、飲むことをやめたりは決してせず、必ず医師や薬剤師に相談しましょう。
- 2 かかりつけ薬局で相談**
薬剤師はお薬の専門家です。お薬に対する不安や疑問も気軽に相談できるかかりつけ薬局を持ちなさう。
※かかりつけ薬局（かかりつけ薬局）とは、かかりつけ薬局として登録されている薬局のことです。
※マイナ保険証で処方されたお薬は、かかりつけ薬局でも受け取ることができます。
- 3 お薬手帳は1つにまとめる**
お薬手帳を1つにまとめておくことで、お薬の処方された薬剤師やかかりつけ薬局との連携がスムーズになります。生活習慣を減らすことで、薬理のないお薬で、少しでも生活習慣を改善していきましょう。
- 4 生活習慣の見直し**
すこやかな毎日を送るための第一歩は生活習慣の改善や定期的な運動、十分な睡眠などの生活習慣を減らすことです。薬理のないお薬で、少しでも生活習慣を改善していきましょう。

《加入者向けリーフレット（急性気道感染症等での抗菌薬服用）》

医療機関の受診にはマイナ保険証をぜひご利用ください。
マイナンバーカードを健康保険証として利用することで様々なメリットが得られます。医療機関や薬局での受診の際は、ぜひマイナ保険証をご利用ください。

マイナ保険証のメリット

- データに基づき、適切な医療が受けられる
- 手書きで済む医療費の自己負担額を減らせるほか、データに基づき適切な医療が受けられます。
※本人の同意が必要です。

特定診療や診療の情報を共有できるため、検査や処置の重複が防げられるほか、データに基づき適切な医療が受けられます。
※本人の同意が必要です。

マイナンバーカードで資格確認を行うため、医療機関用認定証の手続きが不要になります。

この他にもマイナ保険証を利用するとマイナポータルで医療費や処方されたお薬の確認もできます！

マイナンバーカードをマイナ保険証として利用する方法
マイナンバーカードを健康保険証として利用できるようにするには、事前に「保険証利用の登録」を行っていただく必要があります。

保険証利用の登録はここでできます。

- 医療機関窓口のカードリーダー
- セブン銀行ATM
- マイナポータル

マイナンバー総合フリーダイヤル（フリーダイヤル）
0120-95-0178
受付時間：09:00～17:00（土日・祝日・年末年始を除く）
マイナポータル（マイナ保険証）
マイナ保険証の登録・変更・再発行の受付時間：09:00～17:00（土日・祝日・年末年始を除く）

協会の証マイナンバー専用ダイヤル
0570-015-369
8:30～17:18（土日・祝日・年末年始を除く）

本通知に関するお問い合わせ先
● 株式会社メディアプラットフォーム
電話番号：フリーダイヤル 0120-011-589
受付時間：10:00～12:00 / 13:00～17:00（土日・祝日を除く）
受付期間：2025年3月31日まで

協会けんぽ熊本支部からの大切なお知らせです。

上手な医療のかり方で、すこやかな毎日を。

このお知らせは、今後も安心して医療を受けるために役立つ情報の提供を目的としています。
特設サイトでさらにたくさんの情報をご紹介しています。ぜひご覧ください！

全国健康保険協会 熊本支部
〒860-8502 熊本市中中央区幸町5-1 日本生命熊本ビル10階

本通知に関するお問い合わせ先
● 株式会社メディアプラットフォーム
電話番号：フリーダイヤル 0120-011-589
受付時間：10:00～12:00 / 13:00～17:00（土日・祝日を除く）
受付期間：2025年3月31日まで

《医療機関向けリーフレット》

目標に対する協会けんぽ熊本支部の本年度の取組
熊本支部では、お薬の副作用リスクが高い方や副作用受診が多い方、後発医薬品切替が可能な方等に対して、積極的な行動をお奨励し、健康増進への意識を高め、適切な処置と受診行動の推進を目指します。

対象者へも情報提供の通知をお送りしています

実施時期：2025年2月28日現在

対象者への通知物について
対象者に届いた、メールマガジンへのリンクを基に「上手な医療のかり方」を受診内容となっています。通知内容は以下のリンク先で、対象者ご自身の通知物となっています。

- ・副作用受診
- ・後発医薬品
- ・多剤服薬・重複服薬
- ・抗菌薬の適切な使用
- ・検診・全健診受診

医療費適正化計画に関連する情報リンク

第四期医療費適正化計画(2024～2029年度)について(厚生労働省)
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuunits/kyosei/syuuji/000190701_00001.html

高齢者の医薬品適正使用の取組(厚生労働省)
http://www.mhlw.go.jp/content/1112000/kenkou-keikaku_1468.pdf

協会けんぽにおける後発医薬品受診の促進策(全国健康保険協会)
<http://www.kyouseikempco.jp/media/files/honbu/uc4740/sunaki/bt3.pdf>

抗微生物薬適正使用の手引き第二版(厚生労働省)
<http://www.mhlw.go.jp/content/1000000/000573653.pdf>

全国健康保険協会 熊本支部
〒860-8502 熊本市中中央区幸町5-1 日本生命熊本ビル10階

本通知に関するお問い合わせ先
● 株式会社メディアプラットフォーム
電話番号：フリーダイヤル 0120-011-589
受付時間：10:00～12:00 / 13:00～17:00（土日・祝日を除く）
受付期間：2025年3月31日まで

協会けんぽ熊本支部 60万人のレセプトデータ分析

第4期医療費適正化計画(2024～2029年度)について

協会けんぽ熊本支部の基本情報

年齢層	人数	割合	平均年齢
0歳～14歳	12,990	21.6%	7.1歳
15歳～49歳	28,910	48.2%	32.1歳
50歳～64歳	14,810	24.7%	57.1歳
65歳～74歳	8,290	13.9%	69.5歳
75歳～	5,190	8.7%	78.1歳
合計	59,990	100.0%	48.9歳

今年5年度 全国と熊本の一人当たり医療費

項目	全国	熊本
一人当たり医療費	204,700円	214,233円
割合	100%	104.6%

今年5年度 年齢層別一人当たりの医療費

年齢層	全国	熊本
0歳～14歳	107,900円	107,900円
15歳～49歳	148,100円	148,100円
50歳～64歳	184,200円	184,200円
65歳～74歳	214,200円	214,200円
75歳～	254,300円	254,300円
合計	184,200円	184,200円

子育て世代の皆様へ 使える抗菌薬を、未来に残しましょう。

抗菌薬ってどんな薬？
実はウイルス性の感染に抗菌薬は効果がありません。ほとんどの抗菌薬は「細菌」だけに効果があるお薬です。

細菌による感染 (肺炎、中耳炎、膀胱炎など) **効く**

ウイルスによる感染 (かぜ(感冒)、インフルエンザ、麻疹など) **効かない**

お医者さんに抗菌薬をお願いした経験はありませんか？

抗菌薬は
一、細菌や真菌の増殖を抑えるのはやめましょう。
二、症状が悪くなったかといって、抗菌薬を飲み続けるのはやめましょう。
三、残った抗菌薬を別の機会に自己判断で使用するのはやめましょう。

薬剤耐性菌が心配です

細菌の病気が治りにくくなる
薬剤耐性菌が増え、抗菌薬がなくなると感染症の予防や治療が難しくなります。抗菌薬に耐性を持つ細菌(薬剤耐性菌)が増えています。将来の子どもの世にわたることに心がけましょう。

薬剤耐性菌の予防策は、抗菌薬を適正に使うことです。

- 医師の指示通りに服用しましょう。期間や不安があととは、医師や薬剤師に相談しましょう。
- 処方箋には医師の処方箋が必要です。自己判断での使用は、薬剤耐性菌を生み出しにりかえりません。
- 抗菌薬を残さないようにしましょう。症状が悪くなくても、体内に細菌が残ることがあります。
- 残った抗菌薬を他人にあげないようにしましょう。副作用や薬剤耐性菌の原因になります。
- わがかなことは 医師や薬剤師に聞きましょう。副作用や感染予防のために、懸念することもご相談ください。
- 日頃から感染予防を心がけ、抗菌薬の使用を減らしましょう。病気を予防することが最も大切です。

協会けんぽ熊本支部 60万人のレセプトデータ分析

時間外受診
2024年度の協会けんぽの医療科外レセプトによる、熊本支部の時間外受診のSIC*は全国でも高かったことが分かります。

多剤服薬・重複服薬
3つ以上の薬剤に該当している。薬の成分の重複割合が増加しています。前年の成分が重複してしまっている薬剤も増加しています。

後発医薬品切替
後発医薬品切替があまり進んでいないお薬もあり、引き続き後発医薬品への切替が必要となってきます。

協会けんぽ熊本支部 60万人のレセプトデータ分析

薬剤耐性菌の予防策
薬剤師が不要とされる後には、ほとんど処方されています。

後発医薬品切替
後発医薬品が処方されたレセプト割合
処方された割合(前年比)

取組事例④：兵庫支部「メンタルヘルスセミナーの実施」

概要

✓ 職場におけるメンタルヘルス不調が増加する中、職場でのメンタルヘルス対策に取り組む必要性が高まっていることを受け、兵庫県社会保険協会及び兵庫産業保健総合支援センターと連携し、事業所の全従業員向けと管理監督者向けのオンラインセミナーを実施。

結果

✓ オンラインセミナーでは2種類の動画配信（セルフケア編・ラインケア編：各60分）を実施。合計視聴回数は3,157回と令和5年度に実施した配信よりも500回程度増加。セミナーの満足度等を測るため実施したアンケート調査でも「大変参考になった」「参考になった」という回答が72.6%（2セミナーの平均）と好評であった。また、「メンタルヘルス対策は事業所の規模に関係なく必要であること」のエビデンス（傷病手当金支給状況より分析）を広報媒体に記載したことにより、加入事業所全体へのアプローチも可能とした。

令和6年度 全従業員向け(管理監督者を含む)

メンタルヘルスセミナーのご案内

ストレスと上手に向き合えていますか? **セルフケア編**

今、メンタルヘルス不調に悩んでいる方が急増しています。

事業所規模ごとの傷病手当金申請数に占める精神および行動の障害の構成割合

事業所規模	構成割合 (%)
4人以下	36%
5~9人	32%
10~49人	39%
50~99人	42%
100人以上	44%

【配信期間及び視聴】 令和6年 8/1(木)～9/30(月) 各動画60分程度

【講師】 岡田 邦夫氏 (労働衛生コンサルタント・NPO法人健康経営研究会 理事長)

【開催内容】

- ① みんなで学ぶメンタルヘルスセミナー **【セルフケア編】**
職場で自分自身のストレスと向き合い、上手につき合っていくための知識等を学びます。
- ② 管理職のためのメンタルヘルスセミナー **【ラインケア編】**
これからの管理職に求められる職場のコミュニケーションやメンタルヘルスキアの知識を学びます。

【視聴方法】 協会けんぽ兵庫支部のホームページからアクセスし、視聴できます。

主催：全国健康保険協会 兵庫支部 共催：兵庫県社会保険協会 後援：兵庫産業保健総合支援センター

参加費 無料

いつでも・どこでも・誰でも受講可能

令和6年度 管理監督者向け

メンタルヘルスセミナーのご案内

職場のメンタルヘルス対策、取り組んでいますか? **ラインケア編**

ここ20年で職場におけるメンタルヘルス不調は一気に増加。傷病手当金の申請件数のトップに。33.0%

長時間労働が続いている
職場に活気がない
療養中の社員がいる

従業員が安心して働けるよう早めの対策を!

【配信期間及び視聴】 令和6年 8/1(木)～9/30(月) 各動画60分程度

【講師】 岡田 邦夫氏 (労働衛生コンサルタント・NPO法人健康経営研究会 理事長)

【開催内容】

- ① みんなで学ぶメンタルヘルスセミナー **【セルフケア編】**
職場で自分自身のストレスと向き合い、上手につき合っていくための知識等を学びます。
- ② 管理職のためのメンタルヘルスセミナー **【ラインケア編】**
これからの管理職に求められる職場のコミュニケーションやメンタルヘルスキアの知識を学びます。

【視聴方法】 協会けんぽ兵庫支部のホームページからアクセスし、視聴できます。

主催：全国健康保険協会 兵庫支部 共催：兵庫県社会保険協会 後援：兵庫産業保健総合支援センター

参加費 無料

いつでも・どこでも・誰でも受講可能

【令和6年度 支部保険者機能強化予算を活用した取組及び執行額等】

※()は前年度数値

支部保険者機能強化予算 合計 (支部医療費適正化等予算+支部保健事業予算)	予算総額	執行総額	執行率
	50.5億円 (48.2億円)	33.6億円 (31.2億円)	66.7% (64.8%)

分野	区分	主な取組	計画	実績	
			予算額	執行額	執行率
医療費適正化 対策経費	医療費適正化対策	(企画部門) ○ジェネリック医薬品の使用促進 ○適正受診・適正服薬対策 ○医療費分析 (業務部門) ○健康保険委員委嘱勧奨 ○柔道整復施術療養費に関する啓発	2.3億円 (2.3億円)	1.7億円 (1.4億円)	73.3% (59.9%)
	広報・意見発信 経費	紙媒体による広報	2.2億円 (2.3億円)	1.4億円 (1.3億円)	62.2% (57.0%)
	その他の広報	○複数の広報媒体を総合的に活用した医療費適正化対策に関する広報 ○ジェネリック医薬品の使用促進に係る広報 ○適正受診に係る広報 ○インセンティブ制度に係る広報	3.3億円 (3.2億円)	2.7億円 (2.9億円)	82.2% (90.0%)
健診関連経費	事業者健診の結果 データの取得	○事業所への事業者健診データ取得勧奨及び事業者健診結果(紙媒体)のデータ入力委託 ○健診機関及び事業主が事業者健診結果のデータを作成した場合に支払う作成費等	6.3億円 (6.4億円)	4.4億円 (3.9億円)	69.3% (61.6%)
	集団健診	○協会主催の集団健診の実施 ○特定健診と自治体の集団健診やがん検診との同時実施	7.6億円 (7.3億円)	5.1億円 (5.3億円)	68.0% (72.3%)
		○被扶養者の集団健診(協会主催)時におけるオプション健診(骨粗鬆症検査等)の実施	3.0億円 (-億円)	1.5億円 (-億円)	49.8% (-%)
	健診推進経費	○(健診機関、業界団体、商工会議所等を対象として)健診の実施率向上や事業所健診データの早期提供等を図る取組に対して目標を達成した場合に支払う報奨金	2.3億円 (2.5億円)	1.2億円 (1.3億円)	52.5% (51.5%)
	健診受診勧奨等経費	○健診案内時に同封するリーフレット等の作成 ○被扶養者の受診勧奨 ○被保険者への個別勧奨	4.3億円 (4.3億円)	2.6億円 (2.7億円)	60.7% (62.9%)

(注)計数は四捨五入のため、一部、一致しないことがある。

分野	区分	主な取組	計画	実績	
			予算額	執行額	執行率
保健指導経費	保健指導推進経費	○一定規模以上(健診受診者数1,000人以上)の特定保健指導実施機関を対象に、特定保健指導実施機関における特定保健指導実績の向上に向けた取組の動機づけとなるよう、特定保健指導実績に対して支払う報奨金	0.6億円 (0.7億円)	0.4億円 (0.4億円)	65.7% (53.2%)
	保健指導利用勸奨経費	○勸奨文書等の作成 ○貸会議室等を利用した特定保健指導の実施 ○外部委託による電話や文書等での特定保健指導の利用勸奨	2.5億円 (2.5億円)	1.5億円 (1.3億円)	60.3% (49.9%)
	その他	○特定保健指導の中間評価時における血液検査費用、保健指導用のパンフレット作成等に係る経費等	1.8億円 (1.9億円)	1.3億円 (1.2億円)	74.5% (64.2%)
コラボヘルス事業経費	コラボヘルス事業情報提供ツール	○研修会、セミナーの開催 ○事業所の健康づくりのフォローアップ ○健康宣言事業の普及・促進のための事例集やパンフレット、チラシ作成 ○事業所健康度診断(事業所カルテ)等の作成・提供	5.1億円 (4.9億円)	3.7億円 (3.1億円)	71.4% (63.3%)
重症化予防事業経費	未治療者受診勸奨	○勸奨文書等の作成及び外部委託による電話や文書等での勸奨 ○勸奨文書等の作成	5.1億円 (3.8億円)	3.4億円 (2.8億円)	67.0% (73.6%)
	重症化予防対策	○勸奨文書等の作成 ○地域医師会や薬剤師会等との連携による重症化プログラムの実施 ○医療機関やかかりつけ医と連携した専門機関による生活改善サポート及び保健指導の実施	1.6億円 (3.1億円)	0.7億円 (1.6億円)	44.3% (53.4%)
その他の経費	その他の保健事業	○広報関係 ○イベント・ブース出展 ○歯周病、う蝕対策 ○健康講座・健康教室・セミナーの開催 ○喫煙対策 ○メタボ対策 ○健康意識の啓発を目的とした通知作成 ○有識者等から保健事業に係る意見及びアドバイスを受けた場合に支払う謝金	2.5億円 (2.8億円)	2.0億円 (1.9億円)	82.4% (67.5%)

(注) 計数は四捨五入のため、一部、一致しないことがある。

(参考)

令和7年3月21日開催「第135回運営委員会」資料1-9 (一部抜粋)

～令和7年度支部保険者機能強化予算を活用した主な取組予定のご紹介～
(データ分析により洗い出した支部(地域)ごとの健康課題等の解決に向けた取組)

令和7年度支部保険者機能強化予算について

- 支部保険者機能強化予算は、「医療費適正化等の保険者機能を更に発揮するべき」との運営委員会や支部評議会でのご意見も踏まえ、令和元年度に創設。

- 戦略的保険者機能の更なる強化を着実に実施していくためには、「支部ごとの課題を本部・支部間で明確に共有し、課題の解決を図る」ことが重要。

このため、令和4年度より「本部・支部間の連携強化の方策」を開始したところであり、その一環として、支部において容易にデータ抽出・加工等が可能となる情報系システムを構築し、令和5年1月より運用を開始。

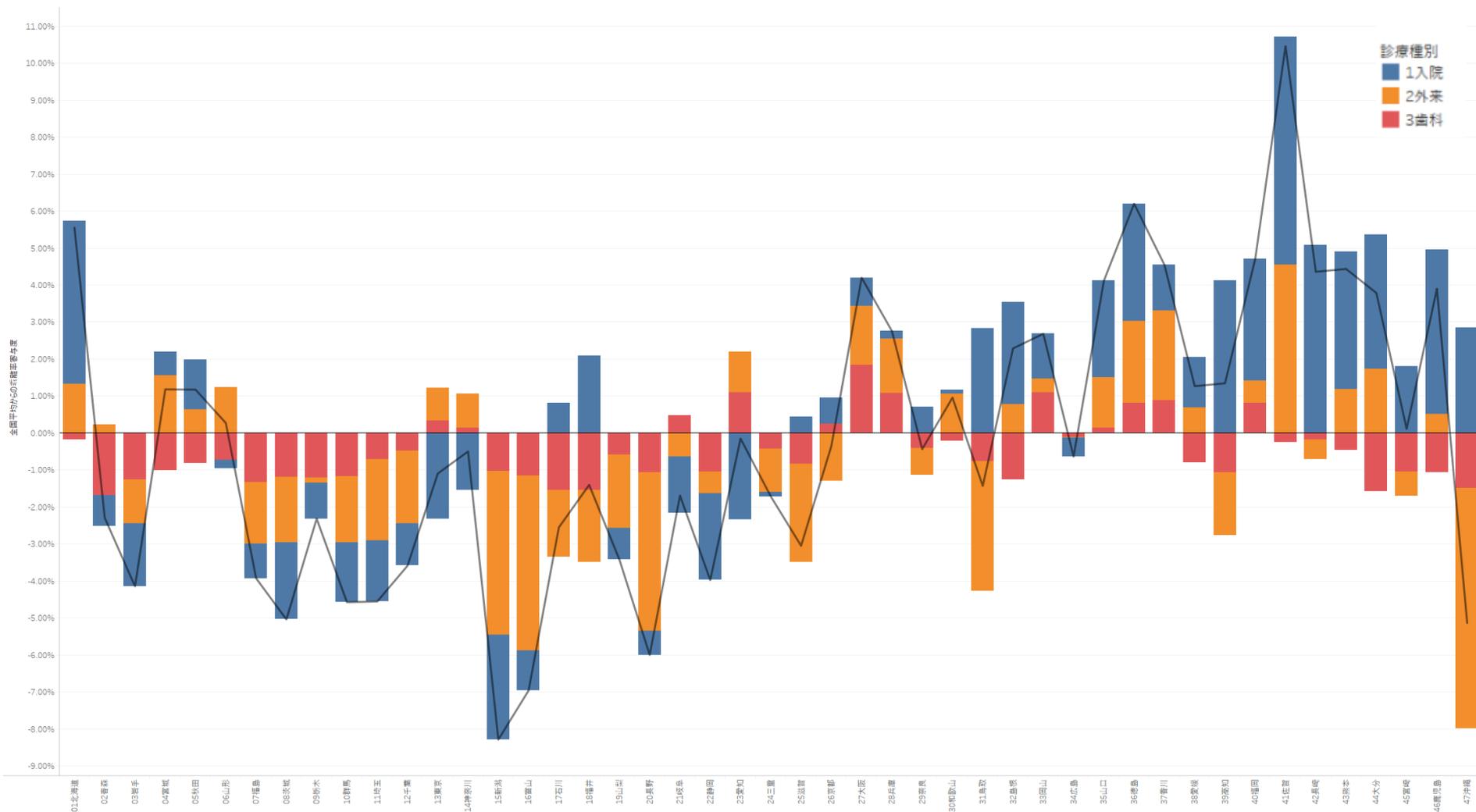
また、支部（地域）ごとの戦略的保険者機能の発揮に向けた取組を更に後押しするため、令和5年度より支部保険者機能強化予算を拡充したほか、令和6年度には被扶養者の集団健診（協会主催）時におけるオプション健診（骨粗鬆症検診、歯科検診、眼底検査）の実施に向けた予算も創設。

➤ 令和7年度支部保険者機能強化予算の所要見込額は51.0億円（前年度49.9億円）

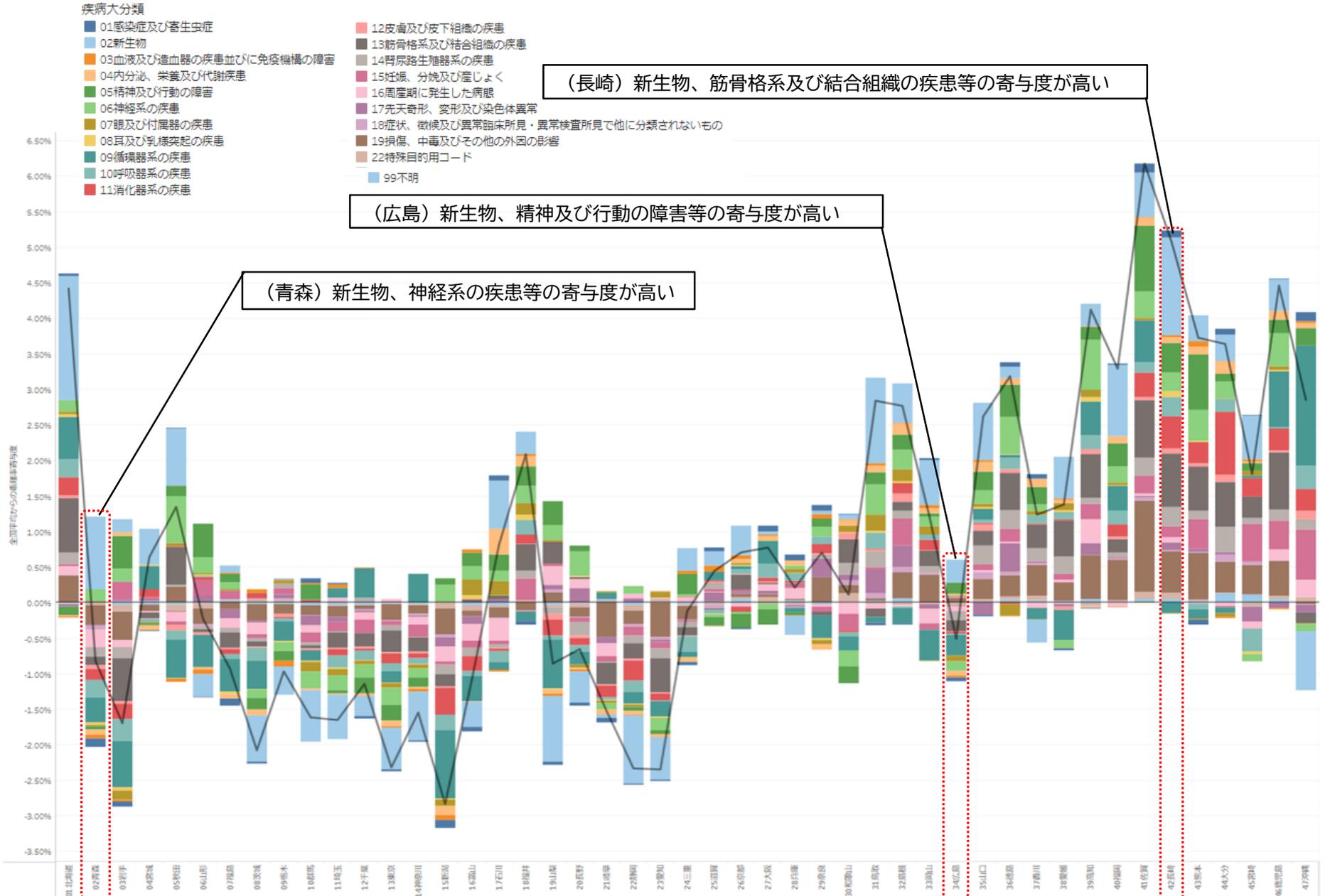
- 引き続き本部・支部連携の下、これらを活用した支部（地域）ごとの健康課題等の解決や、加入者の健康度の向上に資する取組について、更なる推進を図っていく。

事例①【年齢調整後1人当たり医療費の全国平均からの乖離率寄与度（2023年度）支部別/診療種別】

- ・情報系システムを活用することにより、簡単な操作で容易に支部（地域）ごとの集計結果の確認・比較が可能。
- ・支部では本分析をはじめ、事業企画も見据えて地域別、年齢別、業態別、疾病別等の深掘分析を実施。



事例②【年齢調整後1人当たり医療費の全国平均からの乖離率寄与度（2023年度）支部別/疾病分類別】 《入院》



事例③【年齢調整後1人当たり医療費の全国平均からの乖離率寄与度（2023年度）支部別/疾病分類別】

《外来》

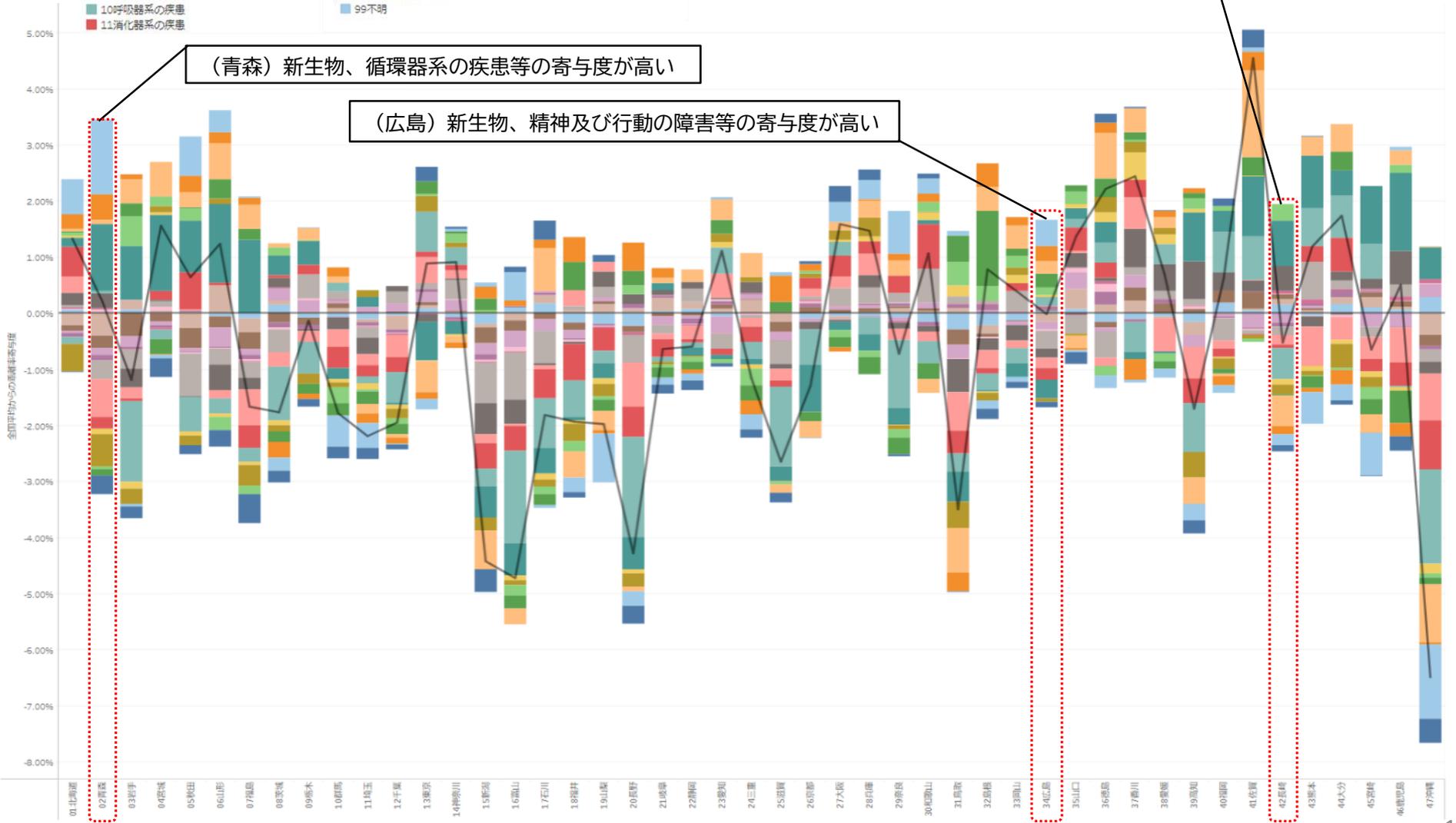
疾病大分類

- 01 感染症及び寄生虫
- 02 新生物
- 03 血液及び循環器の疾患並びに免疫機構の障害
- 04 内分泌、栄養及び代謝疾患
- 05 精神及び行動の障害
- 06 神経系の疾患
- 07 眼及び付属器の疾患
- 08 耳及び乳腺突起の疾患
- 09 循環器系の疾患
- 10 呼吸器系の疾患
- 11 消化器系の疾患
- 12 皮膚及び皮下組織の疾患
- 13 筋骨格系及び結合組織の疾患
- 14 腎尿路生殖器系の疾患
- 15 妊娠、分娩及び産後
- 16 周産期に発生した病態
- 17 先天奇形、変形及び染色体異常
- 18 症状、徴候及び異常検査所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- 19 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- 22 特殊目的用コード
- 99 不明

（長崎）循環器系の疾患、筋骨格系及び結合組織の疾患、神経系の疾患等の寄与度が高い

（青森）新生物、循環器系の疾患等の寄与度が高い

（広島）新生物、精神及び行動の障害等の寄与度が高い



事例④【年齢調整後1人当たり医療費の全国平均からの乖離率寄与度（2023年度）支部別/疾病中分類（新生物・一部抜粋）】

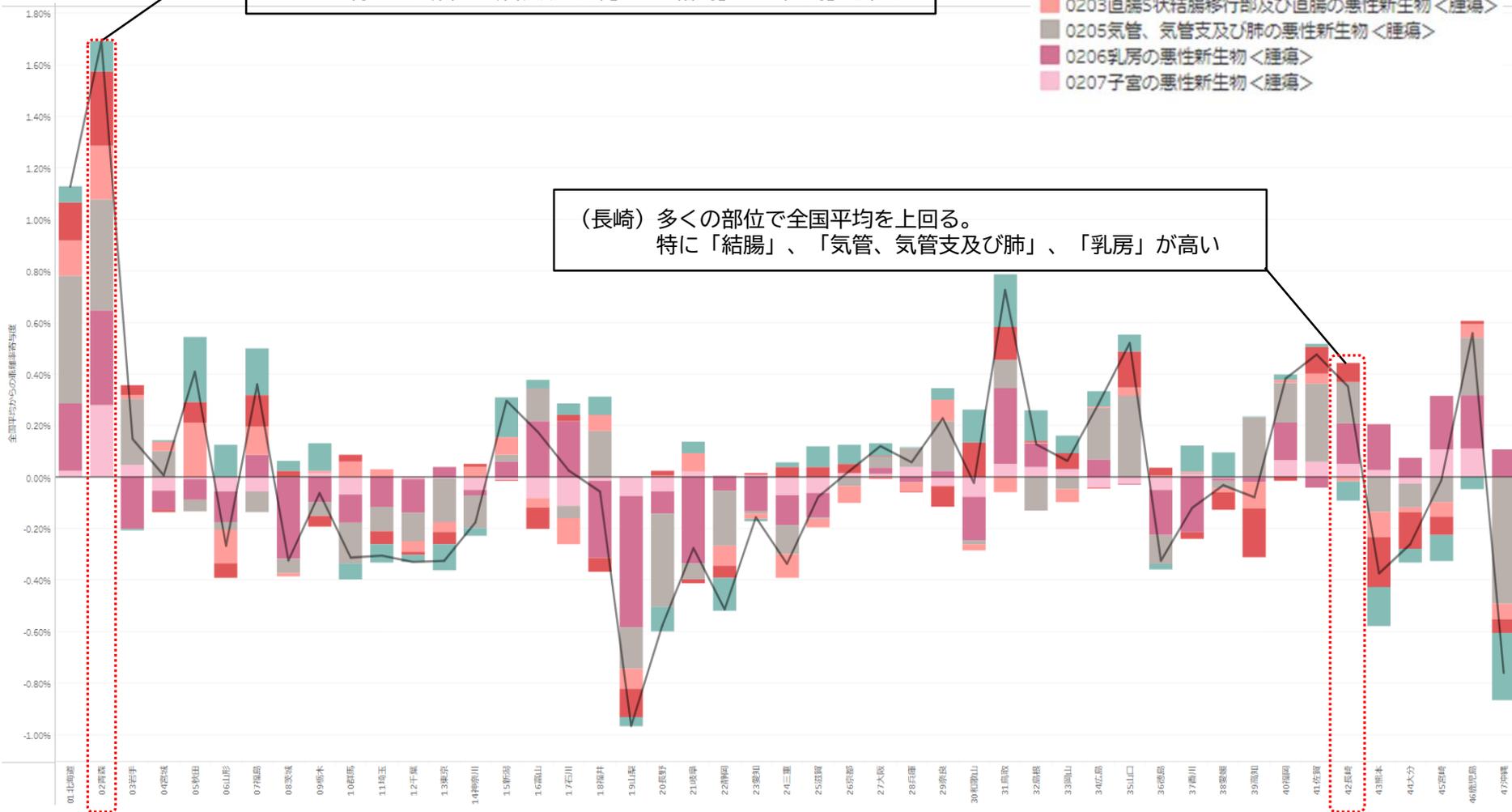
・中分類（「新生物」の部位別で見た医療費（入院+外来）の全国平均からの乖離率寄与度）での分析も容易に実施可能。

（青森）多くの部位で全国平均を上回る。
特に「気管、気管支及び肺」、「結腸」、「直腸」が高い

（長崎）多くの部位で全国平均を上回る。
特に「結腸」、「気管、気管支及び肺」、「乳房」が高い

疾病中分類

- 0201胃の悪性新生物<腫瘍>
- 0202結腸の悪性新生物<腫瘍>
- 0203直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>
- 0205気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>
- 0206乳房の悪性新生物<腫瘍>
- 0207子宮の悪性新生物<腫瘍>

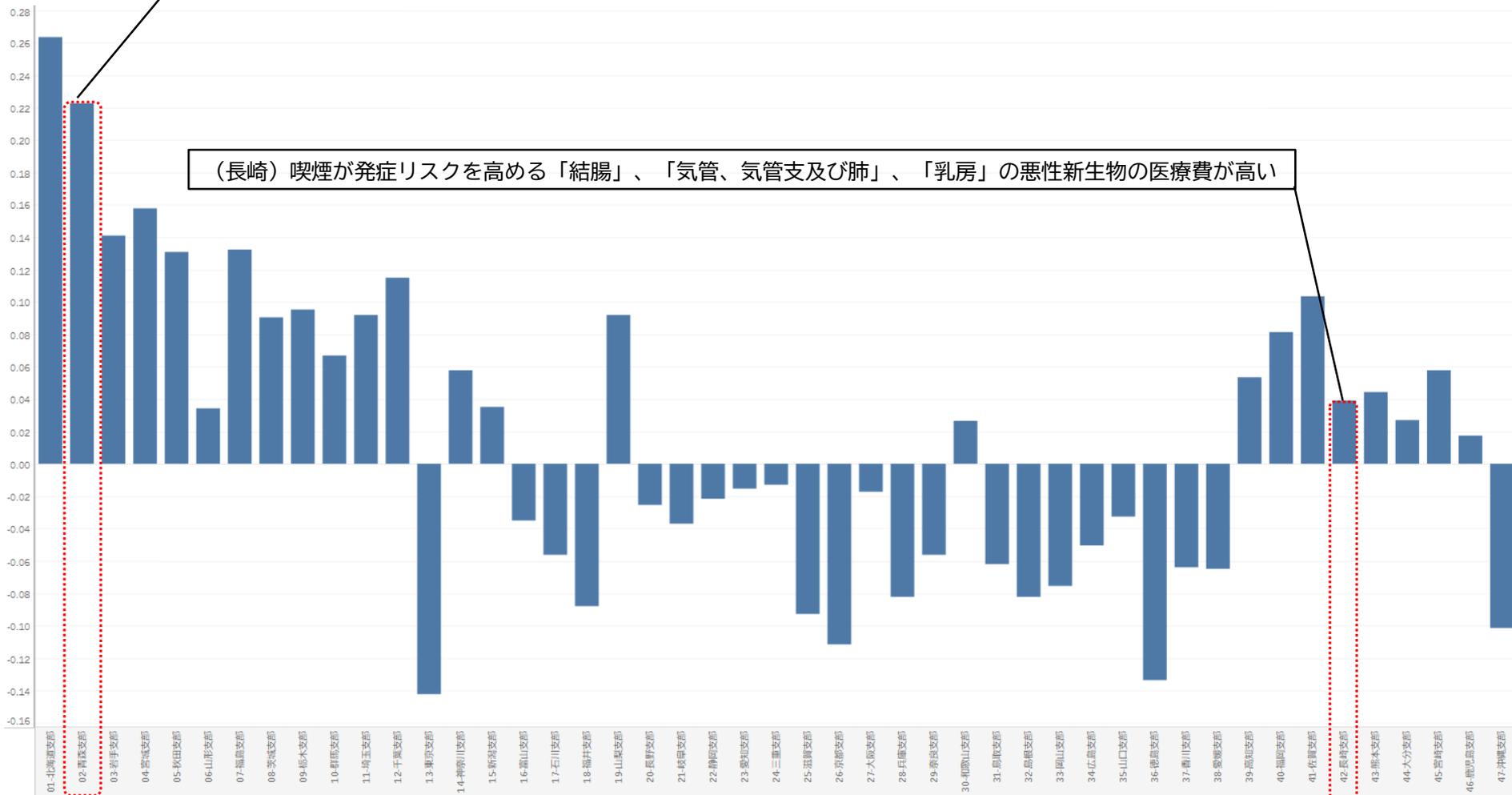


事例⑤【（年齢調整後）喫煙者の割合（地域差指数-1）（2023年度）支部別】

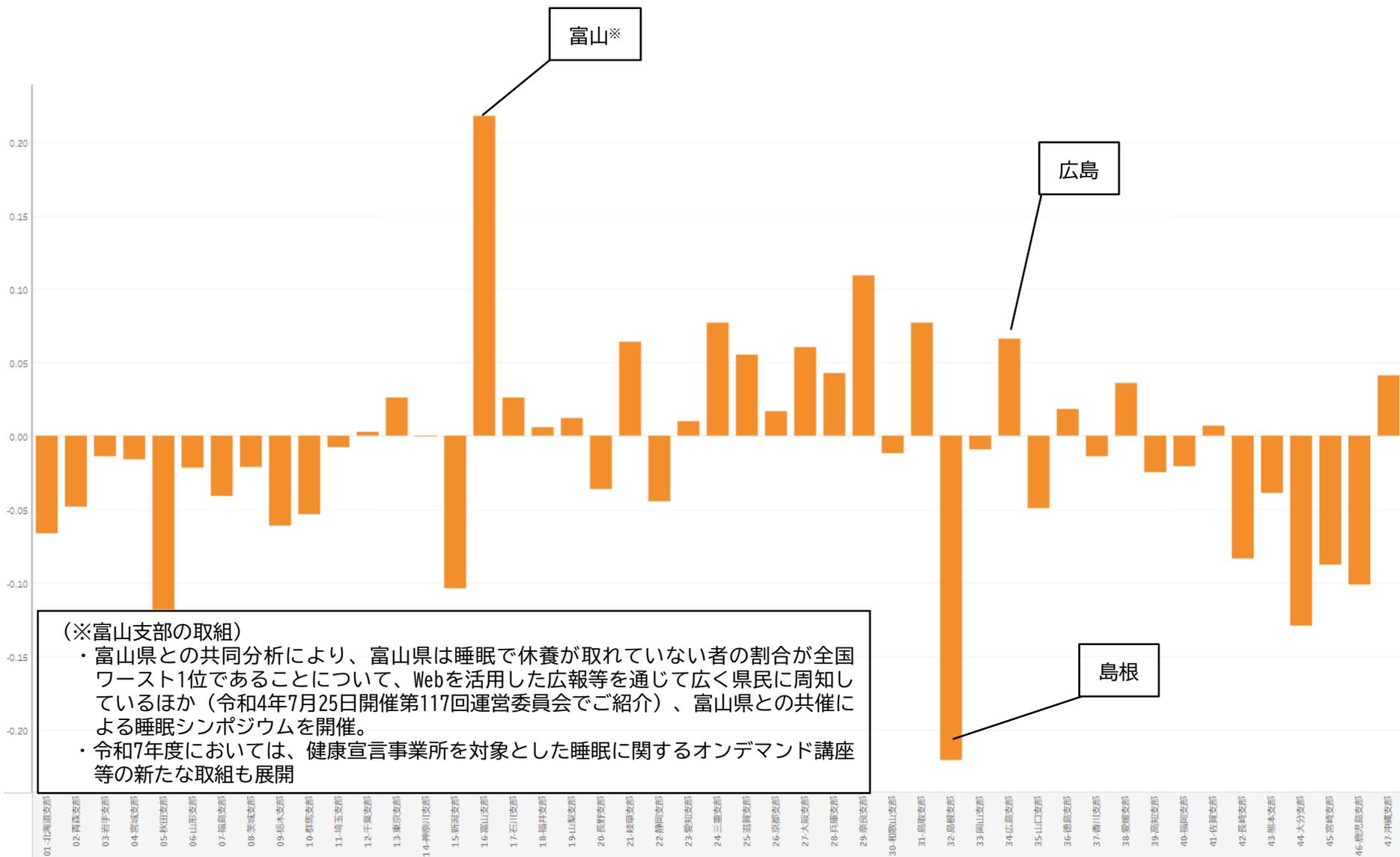
- ・質問票の集計データ（喫煙、運動・食習慣、睡眠等）の「地域差指数-1」の分析についても、容易に実施可能。（業態別、地域別（二次医療圏）での分析も可能）

（青森）喫煙が発症リスクを高める「気管、気管支及び肺」、「腸（結腸、直腸）」の悪性新生物の医療費が高い

（長崎）喫煙が発症リスクを高める「結腸」、「気管、気管支及び肺」、「乳房」の悪性新生物の医療費が高い



事例⑥【(年齢調整後)睡眠で休養が取れていない者の割合(地域差指数-1)(2023年度)支部別】



富山※

広島

島根

(※富山支部の取組)

- ・富山県との共同分析により、富山県は睡眠で休養が取れていない者の割合が全国ワースト1位であることについて、Webを活用した広報等を通じて広く県民に周知しているほか(令和4年7月25日開催第117回運営委員会でご紹介)、富山県との共催による睡眠シンポジウムを開催。
- ・令和7年度においては、健康宣言事業所を対象とした睡眠に関するオンデマンド講座等の新たな取組も展開

令和7年度支部保険者機能強化予算を活用した主な取組のご紹介

青森支部・長崎支部

【健康課題等】

- ・悪性新生物の年齢調整後1人当たり医療費（部位別に見ても多くの部位）が全国平均よりも高い。
- ・悪性新生物を含め、多くの疾患の発症リスクを高める喫煙の習慣がある者の割合が全国平均よりも高い。
- ・都道府県別の「大腸がん年齢調整死亡率（2023年、75歳未満）」について、全国平均と比較して、青森県男性は1.41倍、女性は約1.55倍、長崎県男性は1.12倍（女性は0.89倍）高い（※）。

※出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）



【対策①：がんの早期発見・早期治療の推進（要精密検査等の判定を受けた方を対象とした受診勧奨（※））】

- ・便潜血反応検査で要精密検査等と判定された全ての方に、健診実施機関が健診受診者に後日送付する健診結果に、早期発見・早期治療の重要性等を訴求したリーフレットを同封（青森支部）
- ・便潜血反応検査で要精密検査等の判定を受けた方であって、レセプトから医療機関への受診が確認できない方に対し、早期発見・早期治療の重要性等を訴求したリーフレットを送付（長崎支部）

※肺の悪性新生物等の早期発見・早期治療を促す取組として、令和7年10月より胸部エックス線検査で要精密検査等の判定を受けた方であって、レセプトから医療機関への受診が確認できない方に対する受診勧奨を全支部で実施（保険者努力重点支援プロジェクトの取組の全国展開）

【対策②：喫煙対策（喫煙者や事業所への働きかけ）】

- ・喫煙習慣があり、かつ中学生以下の子どもを養育する方に、禁煙によるメリット、望まない受動喫煙により生じる影響等を主訴としたリーフレットを送付（青森支部）
- ・健康宣言事業所を中心に、受動喫煙防止を主訴としたポスターを配布し、事業所（喫煙所）内での掲示を働きかけ（長崎支部）

【健康課題等】

- ・精神及び行動の障害の年齢調整後1人当たり医療費が全国平均よりも高い。
- ・睡眠で休養が取れていない者の割合（地域差指数-1）が全国平均よりも高い。



【対策：セミナー等の開催】

- ・睡眠改善及び精神疾患の発症予防をテーマとしたセミナー（事業主及び事業所の健康づくり担当者を対象）の開催
- ・健康宣言事業所を対象としたメンタルヘルス講座の開催（100社超の事業所を対象に実施予定）